

平成24年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,643,000円(平成24年4月1日から8,433,000円)		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		H24 下半期	H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期
貸付農地利用区画数		214	211	217	217	207
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	95.4%	92.4%	99.2%	99.2%	94.7%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	78.1%	79.7%	78.1%	78.1%	64.1%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	41.0%	41.0%	37.7%	37.7%	45.9%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
	収穫体験利用組数(組)	1,240	522	1,486	543	1,467
	収穫体験利用人数(人)	4,216	1,666	4,802	1,629	5,213

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退社の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JA機関誌やHPにH25上半期掲載予定 ④・随時除草作業実施 ・イノシシの檻の設置を猟友会に委託(8/10～10/8) ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業 ②農業まつり直売用作物の栽培 ③地元スポーツ少年団による食育の一環として、体験区画の一部を貸し出す。	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 下半期(10月～3月):14件の依頼を受け実施 ②体験区画の一部にて野菜の栽培実施(9/1～11/4) ③体験区画の一部にて秋じゃがいもの栽培確認(9/1～12/15)
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画に埋設、堆肥として活用 ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・農園の排水設備の不具合について、速やかに市に報告した。 ・農業器具の修繕を営農組織に依頼し、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備し、台風被害対策を行うなど、適切な危機管理対策を実施した。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 貸付区画会員159人を対象に、平成25年2月実施。 アンケート質問項目:「年齢」、「栽培経験年数」、「利用頻度」、「管理人の対応(回数・内容)」、「C区画の分割について」、「充実してほしい支援内容」、「ご意見、感想」
利用者アンケートの実施結果	<ul style="list-style-type: none"> 回収総数 129枚 (回答率 81%) 「年齢」 10～20代:0%、30代:2.4%、40代:10.2%、50代:13.4%、60代:44.1%、70代:25.2%、80代:4.7% 「栽培経験年数」 1年:12人、2年:8人、3年:17人、4年:7人、5年:9人、6年:7人、7年:5人、8年:6人、9年:4人、10年～19年:44人、20年以上:3人 「利用頻度」 ほぼ毎日2.3% 週に数回31.8% 週に1回程度43.4% 月に数回19.4% その他3.1% 「管理人の対応について」 回数:もっと指導してほしい16% ちょうどよい80.8% 指導してほしくない2.4% 大変不満0.8% 内容:大変満足5.4% 満足83.0% やや不満9.8% 大変不満1.8% 「C区画の空き区画を30、40㎡に分割して利用したいか」 したい6.9% したくない71.6% 分割の仕方による8.8% その他12.7% 「充実してほしい支援内容」 簡易物置の設置12% 土質の改善53.4% 肥料や苗等の販売29.3% その他5.3% 主な意見・要望:良い環境で楽しく農作業ができる。 使用料金の値下げ、土壌の改良、雑草の刈り取り、排水溝の詰まり改善等
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p>アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用料の値下げ ⇒平成24年4月から区画の年間使用料を値下げした。(400円/㎡→350円/㎡) 土壌の改良 ⇒土力(堆肥)の無料配布を随時行っている。 排水溝の詰まり ⇒詰まりの原因である汚泥の除去作業を行い、詰まりが改善された。 耕耘機の貸出し ⇒耕耘機の無料貸出し実施(下半期申込み件数:26件) イベントの実施(※H24上半期のアンケート要望) ⇒H24.12に感謝祭(焼き芋等の無料配布)を実施した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を超えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	B	B
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	A	B	B
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
	その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-	
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>・貸付区画会員のアンケートにおいて、指導員の対応に「大変満足」「満足している」との回答が90%近い高い評価を得ている。回数においては、「もっと指導してほしい」が16%あるが、これは利用者に指導日伝わっていないことに原因があると思われる。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>・計画通り感謝祭を開催し、130名ほどの参加者があった。 ・作物の試作としてブロッコリーを栽培した。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>・利用率向上のためJA機関誌(ふれあいねっと)及びJAホームページを通じてPR活動に努める。 ・支店及び施設にポスターやチラシを配布してより広範囲にPRに努める。</p>

●所管課の意見

<p>・貸付区画利用者への栽培指導について、アンケートでは回数、内容ともに「ちょうどよい・満足している」が80%以上だったが、利用者の中には農業経験の浅い方も多くいるため、指導日の周知の強化に努め、より柔軟で細やかな指導対応をするよう求める。 ・農園のPRのため、今後も引き続き感謝祭等のイベントを行うよう求める。 ・貸付区画利用者に土力(堆肥)の無料配布を行ったことは評価したい。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>・食農体験イベントや感謝祭の開催については高く評価できるため、今後も継続していただきたい。 ・土壌改良について、土質上難しい部分もあるが、堆肥の配布を実施するなど、今後更なる努力を期待する。 ・利用率の低い50㎡のC区画について、今後利用率をどのように上げていくかの方針を検討していただきたい。 ・広報については今後の改善が期待できるが、市民農園をより多くの方に知っていただけるよう広報の充実に努めていただきたい。</p>
--